

採用後の研修体制について

● 新規採用保育士の育成プランの実施

- 採用後4ヶ月を特にサポート期間として、保育所での業務に慣れ、生活と業務のリズムを確立できるようサポートします。
- 各職場における新規採用サポーターの設置。
 - 毎月、新規採用者全員による意見交換会や先輩との意見交換会などを実施。
 - 新規採用者向け専門研修を年3回（1日研修）

● 神戸市と神戸大学との共同研究として、乳幼児の教育・保育の質向上に向けた取り組み

公開保育を中心とした実践的な研修を神戸市内の公立・民間保育所の保育士と一緒に行なっています。

● 障害児保育にかかる研修の実施

● その他にも保育の専門性を高めるための研修の実施

配属先について

神戸市の保育士として採用された方は、

市内9区にある公立保育所56ヶ所のほか、

児童発達支援センターやこども家庭センターへ配属され、

業務に従事します。

- 保育所
- 児童発達支援センター
- こども家庭センター



「共働き子育てしやすい街ランキング 2023」関西1位(日経BP調べ)

子どもたちの元気があふれ、笑顔がはじける神戸へ。
専門家によるコラムや、施設やサービスを利用した人の声など、
子育てに役立つコンテンツが充実した子育て情報サイトです。



神戸市行財政局人事課
神戸市役所1号館13階 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
総合コールセンター（年中無休 8:00～21:00）
電話 0570-083330 または 078-333-3330
FAX 078-333-3314

職員採用ホームページ

市政・仕事紹介、主要プロジェクト、
ワークスタイル、試験内容などを掲載しています。



<https://saiyou.city.kobe.lg.jp/>
神戸市 職員採用 検索

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

神戸市職員採用 X (旧twitter)

@kobe_saiyou

試験や説明会など、神戸市職員採用に関する情報をお知らせしています。

保育士職務ガイド

神戸の子どもの明るい未来を支える職種



BE KOBE
神戸は、人の中にある。

保育士の仕事

保育所での乳幼児の保育、児童発達支援センターでの障害児への療育支援、こども家庭センター（一時保護所）での保育および支援などが神戸市の保育士の主な業務です。さらに地域での子育て支援活動も行い、神戸のこどもの明るい未来を支えています。

保育所での保育業務

市内の公立保育所において、生後6ヶ月から就学前の乳幼児の保育業務を担当している。現在は2歳児クラスの担任として、こどもたちの日々の保育を担当している。



こども家庭局幼保振興課
しりいけ保育所
飯高 天音

こどもたちの「やりたい」「楽しい」を近くでサポートしたいという想いから、保育士になることを決意。大学在学中に資格を取得後、神戸市の保育士を受験。いつでも親身に寄り添ってくれる先輩や同僚と、日々力を合わせてこども達の成長をサポートしている。

こども一人ひとりの主体性を大切にしたい。
小さな成長を近くで支えます。

神戸市の保育所はこども一人ひとりの主体性を大切にしています。こどものやりたいことをサポートすることに力を入れているからこそ、保育者である私も毎日ワクワクしながら仕事ができます。また、わからないことや悩みがあれば、先輩方が親身にサポートしてくれる環境も魅力的です。これからもチームワークを大切にしながら、こどもの成長を近くで支えています。

9:00 - 9:30	トイレの援助、 保育	11:00 - 12:00	食事の 援助	午睡の援助、 日誌・連絡帳記 入などの事務、会議、休憩	15:00 - 15:30	おやつ の提供	16:40 - 17:10	保育	事務
-------------	---------------	---------------	-----------	-----------------------------------	---------------	------------	---------------	----	----

case1

保育主任としての業務

正規職員として数年間勤務したのち主任に。
保育に加えて、管理業務も行なっている。
職場での人間関係や環境を整えることも大切な業務。



こども家庭局幼保振興課
住吉公園保育所
平野 佑磨

大学卒業後、専門学校での学びを経て神戸市の保育士に。幼い頃からのこども好きが、保育士を目指す原点。異動により数多くの素敵な先生と関わったことで、保育への情熱がより強固に。
職場は自己発揮ができる大切な居場所。



こどもたちの輝かしい未来のために、
一緒に最高の保育を提供しましょう。

こどもたちの成長を近くで見守ることはもちろん、職場の環境作りにも大きなやりがいを感じています。こどもたちが安心して過ごせる環境作りには、風通しの良い職場作りが欠かせません。
これからも主任として職員一人ひとりの個性を大切にしながら、すべての人が気持ち良く働ける環境作りに努めています。

9:00 - 10:00	メール確認、 1日の予定 確認、保育 者からの 申請確認	13:00	休憩、 職員へ必要事項の 確認、会議	15:00	保護者対応、 電話対応、 保育、事務処理	17:10
--------------	--	-------	--------------------------	-------	----------------------------	-------

case2

コラム “神戸での暮らし”



休日には、子どもたちと一緒に神戸の自然を楽しんでいます。
街と自然が近く、すぐに都会にも大自然にも行けるのが神戸市の魅力です。



神戸市はワークライフバランスが取りやすく、仕事と育児を両立しやすい感じています。休日に街で子どもとショッピングを楽しむことも。

保育所長としての業務

市内の公立保育所において、保育所運営を担う所長。
安全保育のための職員体制や職場環境の調整、運営のための事務処理など幅広い業務を担当。こどもたちの安全と健康を守る責任ある役割を担っている。



こども家庭局幼保振興課
駒栄保育所
磯野 由佳

自分が通った公立保育所での
楽しい思い出から、保育士を志す。
地元神戸市でキャリアを積み、
産休・育休を取得。
現在は所長として職員とともにこどもたちの成長を見守っている。



こども、保護者、職員。みんなが安心して
笑顔で過ごせる保育所作りをしています。

職員の健康と幸せに配慮しながら、こどもたちが安心して笑顔で成長できる環境作りに日々励んでいます。異動を通して、広い神戸市のなかでたくさんの先生方との出会いやつながりも築くことができました。神戸市での保育士は働きやすく、育児との両立が可能な制度が整っているところも魅力的です。これからも保育所を守り、支え合い、語り合える存在でありたいと思っています。

9:00 - 10:30	保育見守り、 事務書類確認	13:30	事務処理、事前検食、休憩	15:00	会議、 打ち合わせ、 所内研修	17:10
--------------	------------------	-------	--------------	-------	-----------------------	-------

療育センターでの業務

市内の療育施設にて、支援が必要な0歳から就学前の乳幼児の療育を担当。個別の支援計画に基づき、療育や訓練が必要なこども一人ひとりの成長を支える多様な活動を実施している。



こども家庭局西部療育
センターのばら学園
中嶋 絵梨

幼い頃から小さなこどものお世話をするのが好きで、自然と保育士を志す。数年の保育所勤務を経て療育センター勤務に。
一人ひとりに合わせた療育方法を、日々学びながら楽しんで取り組んでいる。



こどもたちの日々の成長を見守り、
支えることが仕事の大きなやりがいです。

療育センターは知的発達クラスと肢体不自由児クラスに分かれています。現在は3~5歳の肢体不自由児クラスを担当しています。療育センターでの職務は、個々のこどもたちに合った支援方法を考え、実践することで常に新しい発見と学びがあります。職場は経験豊富な先輩や後輩たちと一緒に成長していく大切な場所です。これからも専門知識を高めながら、こどもたちが楽しく通いたくなる場所を作りたいと思います。

8:45 - 10:00	朝礼、 保育準備 職員との 打ち合わせ	14:00 - 15:45	園児登園・療育、食事の援助 片付け、休憩	17:30
--------------	------------------------------	---------------	-------------------------	-------

